

令和元年度 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		農業集落排水事業				
	担当課・係名		建設水道課 上下水道総務係				
	予算 科目	会計区分	下水道事業特別会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	02 農業集落排水事業費		中分類	02 快適生活のためのライフライン整備	
項		01 農業集落排水事業費	小分類		03 快適生活のためのライフライン整備(下水道)		
	目	01 農業集落排水管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費(千円)		9,894	9,380	60,942	60,611	137,832
	財源 内訳	国県支出金	4,250	4,250	29,000	29,000	67,750
		その他特定財源	5,644	5,130	26,030	26,030	60,000
		一般財源	0	0	5,912	5,581	10,082
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象(誰、何を対象にするのか) 大村地区の水環境の保全及び処理区域内住民の生活環境改善。						
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか) 河川、用排水路等の水質保全、清潔で住み良い町づくりのために生活環境の改善を図るため、農業集落排水処理施設の各機器の更新を行う。						
⑤	事業概要 農業集落排水処理施設の各機器の更新。 (大村浄化センター 水中攪拌ポンプ、消泡ポンプ、放流ポンプ、屋外点検蓋等更新、非常用発電機 新設) (マンホールポンプ 既設ポンプ、動力制御盤、水位計、非常用通報装置 更新) 新規公共桝設置及び私道内排水管布設工事						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 農業集落排水事業については、接続が頭打ちとなっていることから、今後も接続のための啓蒙活動が必要。						
⑦	根拠法令等(法律・条例・要綱等) 色麻町農業集落排水処理施設条例、色麻町農業集落排水処理施設条例施行規則						
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	機能強化対策事業 単位: %	実績値	0	4	33	
			目標値	0	10	51	
	定義	本事業は、農山漁村地域整備交付金事業で実施するもので、令和元年度に事業完了予定。					
B	単位:	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	水洗化率 単位: %	実績値	84	86	86	
			目標値	85	87	89	
	定義						
B	単位:	実績値	0	0	0		
		目標値	0	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	町が主体となって行う事業であり、生活環境衛生の向上はもとより、自然環境の保護、生活排水が起因となる伝染病の発生源を無くす等、下水道事業の重要性は高く全国的に推進している。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 14	水質保全、生活環境の改善、向上としては有効な事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	下水道事業での補助としては本事業で採択するのが最適である。 本事業区域外については、特定環境保全公共下水道事業及び個別排水事業で実施する。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	町で行う事業であり、水質保全、生活環境の改善においては有効的な事業で、平成11年度で完了した。但し、水洗化率は低い。水洗化の向上は今後の課題である。 又、供用開始から19年を経過し、処理施設、ポンプ施設の各機器の更新、改修を行う。

⑪	課長総括評価	住民の生活環境を保全する上で、重要な生活基盤施設であり適切な維持管理を実施することに加え、財政が厳しい状況を鑑み施設全体の長寿命化を考慮した改修・修繕を今後も進める。
	合計点 47	
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		特定環境保全公共下水事業				
	担当課・係名		建設水道課 上下水道総務係				
	予算 科目	会計区分	下水道事業特別会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	03 特定環境保全公共下水事業費		中分類	02 快適生活のためのライフライン整備	
		項	01 特定環境保全公共下水事業費		小分類	03 快適生活のためのライフライン整備(下水道)	
目		特定環境保全公共下水道管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費(千円)		1,913	1,815	1,301	1,301	12,235
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	1,913	1,815	1,294	1,294	12,235
		一般財源	0	0	7	7	0
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象(誰、何を対象にするのか)						
本下水道事業計画区域及びその区域内の町民							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
区域内町民の生活環境の公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全を図る。							
⑤	事業概要						
事業計画区域A=162ha、計画人口3,850人、事業実施年度H6~H25 新規公共桝及び私道内排水管布設工事							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
特定環境保全公共下水道事業については、新規接続が少なくなっており、今後も接続のための啓蒙活動が必要。							
⑦	根拠法令等(法律・条例・要綱等)						
下水道法、下水道法施行令、色麻町下水道条例、色麻町下水道条例施行規則							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A	整備率	単位: %	実績値	100	100	100	
			目標値	100	100	100	
定義 平成25年度で整備完了							
B		単位:	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A	水洗化率	単位: %	実績値	71	73	74	
			目標値	73	75	77	
定義							
B		単位:	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	町が主体となって行う事業であり、生活環境衛生の向上はもとより、自然環境の保護、生活排水が起因となる伝染病の発生源を無くす等、下水道事業の重要性は高く全国的に推進している。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 14	水質保全、生活環境の改善、向上としては有効な事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	下水道事業での補助としては本事業で採択するのが最適である。本事業区域外については、個別排水事業で実施する。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	町で行う事業であり、水質保全、生活環境の改善においては有効的な事業で、平成25年度で完了した。但し、水洗化率は低い。水洗化の向上は今後の課題である。

⑪	課長総括評価	住民の生活環境を保全する上で、重要な生活基盤施設であり適切な維持管理を実施することに加え、財政が厳しい状況を鑑み施設全体の長寿命化を考慮した改修・修繕を今後も進める。
	合計点	47
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		個別排水処理施設整備事業				
	担当課・係名		建設水道課 上下水道総務係				
	予算 科目	会計区分	下水道事業特別会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	04 個別配水管理費		中分類	02 快適生活のためのライフライン整備	
		項	01 個別配水事業費		小分類	03 快適生活のためのライフライン整備(下水道)	
目		01 個別配水管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費(千円)		6,103	6,073	7,116	6,308	10,000
財源 内訳	国県支出金		0	0	0	0	0
	その他特定財源		5,886	5,866	6,299	6,308	9,900
	一般財源		217	207	817	0	100
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象(誰、何を対象にするのか)						
個別排水処理施設整備事業計画区域及びその区域内の町民 (特定環境保全公共下水道区域及び農業集落排水区域から外れた区域を対象)							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
設置を希望する町民の生活環境の公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全を図る。							
⑤	事業概要						
合併処理浄化槽の設置による汚水排水処理事業。 H31.3.31対象戸数 591戸-64基(個人所有浄化槽その他区域)=527基 (個人所有浄化槽:特環区域-91基・農集排-9基・その他区域-64基・計164基) *特環区域内及び農集排区域の個人所有浄化槽は、最終的に廃棄し下水道に接続しなければならない。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
毎年合併浄化槽設置数が増加しているものの、近年は設置数が頭打ちとなってきているため、更なる接続のための啓蒙活動が重要。							
⑦	根拠法令等(法律・条例・要綱等)						
浄化槽法、色麻町個別排水処理施設条例、色麻町個別排水処理施設条例施行規則							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A	整備率	単位: %	実績値	40	41	43	
			目標値	45	47	49	
定義							
B		単位:	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A	水洗化率	単位: %	実績値	40	41	43	
			目標値	45	47	49	
定義							
B		単位:	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	当初、設置者へ補助する方法も検討したが、公共サービスの公平性を重視し、下水道と同様に町で設置、管理し使用料を徴収することとして町が主体となって行う事業とした。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 14	水質保全、生活環境の改善、向上としては有効な事業である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	町が主体となって行う事業としては、本事業で推進するのが妥当である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	下水処理は今や必要不可欠なものであり、集合処理区域外の汚水処理を集合処理同様、町が公平に行う事業としては本事業が最適である。 本事業は設置者の申込により行う事業であり、水洗トイレの必要性に迫られて設置を申し込む状況であるものの、設置総数も多くなっており、今後も継続して実施する。

⑪	課長総括評価 合計点 49	住民の生活環境を保全する上で、重要な生活基盤施設であり適切な維持管理と普及促進を図る必要がある。
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	